

平成30年12月11日

上田市立菅平中学校保護者 様

上田市立菅平中学校長 笠原 利幸

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果のお知らせ

全国の中学3年生が4月に行った「全国学力・学習状況調査【国語A（主として知識）、国語B（主として活用）、数学A（主として知識）、数学B（主として活用）、理科】の結果をお知らせします。この調査は、各校の学力の状況や、学校や家庭の状況を把握して課題を明確にし、各学校が質の高い授業を提供することで生徒の学力向上に資することを目的に行われているものです。なお、この調査結果は、生徒の身に付ける学力の一部であることをご理解ください。

<調査結果の概要>

「本校3年生は、国語A・数学A・理科においては、全国と県の平均正答率を上回り、数学Bにおいては、ほぼ同程度でした。しかし、国語Bにおいては、全国や県の平均正答率に満たない」という結果が出ました。

数学では、数学A（主として知識）は全国を上回りました。分野別に見ると、「数と式」「図形」「資料の活用」が全国を上回り、わずかに下回ったのは「関数」でした。また、数学B（主として活用）では、総合点は全国とほぼ同程度でした。分野別にみると、「数と式」「関数」「資料の活用」は全国とほぼ同程度でしたが、「関数」の分野で全国を大きく下回りました。従って、数学の知識面では、おおむね標準的な力をつけていると言えます。一方、「関数」の活用の分野では課題が残り、今後力を入れていく必要があります。

国語では、国語A（主として知識）は、全国を上回りました。分野別では、「話す聞く」「読む」「言語文化特質」で全国を大きく上回り、「書く」分野ではわずかに下回りました。一方、国語B（主として活用）では、「話す聞く」「書く」「読む」「言語文化特質」の全分野で全国を下回りました。特に、「書く」「読む」「言語文化特質」分野が、大きく下回り今後の課題となりました。従って、国語の知識面では、おおむね標準的な力をつけているものの、活用力を高めていく必要があります。

理科では、「物理的領域」「科学的領域」「生物的領域」「地学的領域」の全領域で全国平均を大きく上回りました。これは、友と関わりながら実験や考察を行うことで理科的事象への興味関心が高まり、確実な力がついてきているものと考えます。今後も友との関わりを大切に主体的に学ぶ学習を継続していきたいと思えます。

生徒の学習への関心、学習習慣、価値観等を調べた調査では、菅平中学校の生徒は、次の項

目の割合が全国平均・県平均と比べて高くなっていて、全体的に好ましい結果が出ています。

<本校生徒のよいところ 学習習慣等に関するアンケートより>

【生活習慣の定着】…朝食を食べるなど、基本的な生活習慣が身についている。

(課題は起床時刻)

【話し合い活動】…友達の話や意見をしっかり聞き、自分の考えを発表する活動を大切にしている。

【家族とのかかわり】…家の人と将来についての話しをし、家で手伝いをする。

【仲間とのかかわり】…友だちと会うことが楽しく、学校へ来ることが楽しい。

【地域とのかかわり】…地域の行事に参加し、よりよい地域のあり方について考えている。

【高い規範意識】…学校の規則や友達との約束を守る。友だちをすすんで助けようとしている。

【ボランティア精神】…人を助けて、社会の役に立ちたいと思っている。

【学習への意識】…国語や数学の授業がだいたい分かり、大切と考えている。

(課題は家庭学習・宿題への取り組み)

上記の結果をふまえ本校で大切にしていきたいこと

◎少人数の良さをいかして、一人ひとりの得意・不得意を見極め、個に応じたきめ細かな指導を行っていきます。

◎1時間の授業の終末の「見とどけたい子どもの姿」から授業を構想し、毎時間の授業の「ねらい」を明確にするとともに、生徒が興味関心をもって学習できる単元展開・授業展開を工夫していきます。

◎国語・数学ともに、基礎基本の定着を継続指導します。また、活用する力を高めるための取り組みとして、「自ら考え、友と伝え合う」学習の場面を積極的に取り入れ、話し合い活動を充実させていきます。

◎宿題の工夫を通して、授業と家庭学習をつなぐとともに、「紡ぐ」を活用して、学習習慣の育成を図っていきます。また、社会への興味関心が高まるような工夫をしていきます。

◎定期テスト前に取り組んでいる、「自主学習教室」の内容をさらに充実させていきます。生徒の学習の実態に応じて、生徒からの質問を受けるだけでなく、教師側から、学習課題が定着しているかの確認（復習）にも取り組んでいきます。

菅平中学校の子ども達の健やかな育ちのために、これからも学校と家庭・地域が協力しあって学力の向上に努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

上田市立菅平中学校
担当 教頭 松田 幸一
72-2014